

メディカルタイムアウトについて

県総体における熱中症予防の観点から、今大会では「メディカルタイムアウト」を導入します。選手も、TOも、この特別ルールをきちんと理解し正しく実施しましょう。

「メディカルタイムアウト」とは、試合の途中に30秒間のタイムアウトをとって、「汗を拭く」「水分補給」を行うものです。この「メディカルタイムアウト」は、普通のタイムアウトとは異なるのでコーチが作戦を指示する時間ではありません。しっかりと選手が「汗を拭く」「水分補給」を行う時間としてください。

【 メディカルタイムアウトのルール 】

- すべてのクォーターで、半分の時間（中学校の試合時間では4分）が経過し、ボールがデッドになったら、自動的に30秒間のメディカルタイムアウトになります。
- メディカルタイムアウトは、どちらのチームのタイムアウトにも数えません。
- オーバータイムではメディカルタイムアウトはとりません。

【 TO（テーブルオフィシャルズ） 】

- スコアラーとタイマーが協力して、メディカルタイムアウトの時期が来たらブザーを鳴らし、図の合図をして、選手と審判に伝えてください。
- タイマーで30秒を計ったら再会のブザーを鳴らしてください。20秒で予鈴を鳴らす必要はありません。
- スコアシートにメディカルタイムアウトを記入する必要はありません。



握りこぶしで腕を広げる

【 チームや選手 】

- 選手はベンチに戻って、「汗を拭く」「水分補給」を素早く行ってください。
- 30秒のブザーが鳴ったら、速やかに試合が再開できるように協力してください。
- 審判も「汗を拭く」「水分補給」をしているので、審判への質問はしないでください。

【 審判 】

- 審判も「汗を拭く」「水分補給」をしてください。
- TOからメディカルタイムアウトを知らされたら、審判も図の合図を行って、選手やチームに伝えてください。

【 Q & A 】

Q：ボールがデッドの状態って何ですか？

A：バイオレーションやファウルで、審判の笛が鳴り、ゲームクロックが止まった状態です。また、ゲームクロックは止まりませんが、シュートが入ったときもボールがデッドの状態です。つまり、普通のタイムアウトがとれるタイミングと同じです。

Q：普通のタイムアウトの請求とメディカルタイムアウトの時期が重なったら、どうしたらいいですか？

A：メディカルタイムアウトを優先してください。その後、普通のタイムアウトが必要かどうか、請求したチームに確認してください。もし、チームが不要であれば、普通のタイムアウトはなしです。

Q：ちょうど「4:00」ぴったりでゲームクロックが止まりました。メディカルタイムアウトはとれますか？

A：とれます。タイマーの表示が「4:00」の状態を含みます。

Q：ゲームクロックが「4:02」でシュートが決まって、スローインする前に「4:00」になりましたが、メディカルタイムアウトはとれますか？

A：とれません。シュートが決まったときに「4:00」を経過していなければ、メディカルタイムアウトはとれません。

Q：メディカルタイムアウト中に交代はできますか？また、メディカルタイムアウト後に、続けて普通のタイムアウトをとることはできますか？

A：交代できます。続けてタイムアウトをとることもできます。

Q：うっかりメディカルタイムアウトをとり忘れてしまいました。どうしたらいいですか？

A：次のタイミングでメディカルタイムアウトをとってください。でも、そうならないようにTOと審判で協力しましょう。